

2024年度 自主保安事業所交流会

自主保安活動の取り組み

2025年2月5日

旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所

目次

1. 旭化成グループの紹介
2. 川崎製造所の紹介
3. 安全文化構築「ケガをしない、ケガをさせない活動」の紹介
4. 重大事故防止「保安防災技術伝承活動」のご紹介
5. 法令遵守「法令講習会」のご紹介
6. 最後に

1. 旭化成グループの紹介

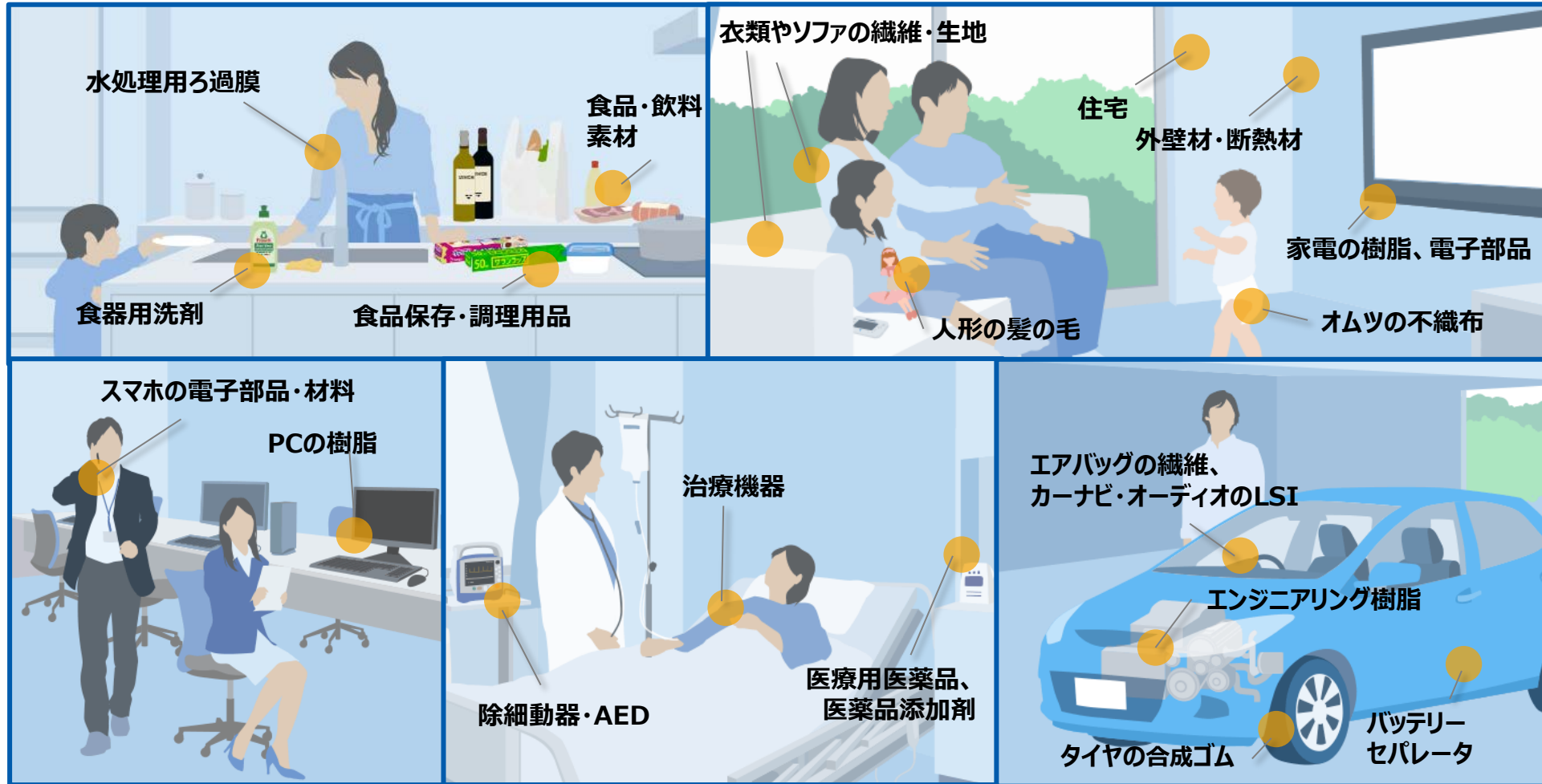
1. 旭化成グループの紹介

旭化成グループは、事業持株会社である旭化成と、7つの事業会社を中核に、「マテリアル」「住宅」「ヘルスケア」の3領域で事業を展開している総合化学メーカーです。



旭化成株式会社 : 創業 1922年
 : 資本金 1,034億円
 : 従業員 49,295人 (2024年(令和6年)3月31日現在)

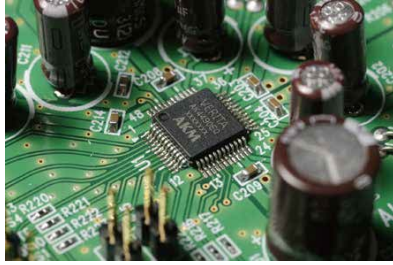
1. 旭化成グループの紹介



旭化成グループの技術・製品は、くらしに身近な消費財から、生活をより快適にする素材・製品や、いのちを支えるヘルスケア製品まで、さまざまなシーンで活躍しています。

1. 旭化成グループの紹介

LSI



ヘーベルハウス



人工皮革



アルカリ水電解



サランラップ

石化プラント



2. 川崎製造所の紹介

2. 川崎製造所の紹介

〈設立〉：1956年（昭和31年）5月11日

〈塩浜地区〉

神奈川県川崎市川崎区夜光1-3-1

- 敷地面積：253,050㎡
- 主要製品：

<ul style="list-style-type: none"> ・モノマー製造部 ・合成ゴム製造部 ・ラテックス製造部 ・交換膜製造部 	<ul style="list-style-type: none"> メタクリル酸メチル メタクリル酸シクロヘキシル、アセトニトリル 合成ゴム、熱可塑性エラストマー スチレンブタジエンラテックス イオン交換膜
--	---

〈浮島地区〉

神奈川県川崎市浮島町

29,960㎡
アクリル樹脂プラント

〈千葉地区〉

千葉県袖ヶ浦市中袖

396,000㎡
ポリスチレンプラント等

川崎製造所は、塩浜地区・浮島地区・千葉工場を含めた3拠点からなる製造所です。24時間稼働している製造部門の他、研究開発部門、生産技術部門、支援部門からなり、社員及び常駐協力会社の方を含めるとおよそ2,000の方が働いています。こうした多種多様な業種が混在の中で安全活動を推進しています。



2. 川崎製造所の紹介（塩浜地区上空写真）



3. 安全文化構築 「ケガをしない、ケガをさせない活動」の紹介

3. 安全文化構築「ケガをしない、ケガをさせない活動」の紹介

「安全文化の構築」で最も大切な事は・・・

重要

不休や応急労災がなかなか無くならない。これをゼロ化したい。

【見えやすい】

- ・全体として小さい
- ・方針、目的、目標
- ・各種安全活動
- ・教育、訓練
- ・マニュアル、ルール
- ・現在、過去（実績）

こちらは、しっかり
していると認識
している。

「見えやすい」部分を実行
するために必要な基礎的
なものが「見えにくい」部分
である。

【見えにくい】

- ・全体として大きい
- ・理解度、腹落ち感
- ・主体性
- ・モチベーション
- ・マインド、信念、心理
- ・人間関係、信用・信頼
- ・風土、一体感
- ・未来（計画性）

こちらを良好な状
態にすることが
安全文化に繋が
ると考えている。

3. 安全文化構築「ケガをしない、ケガをさせない活動」の紹介

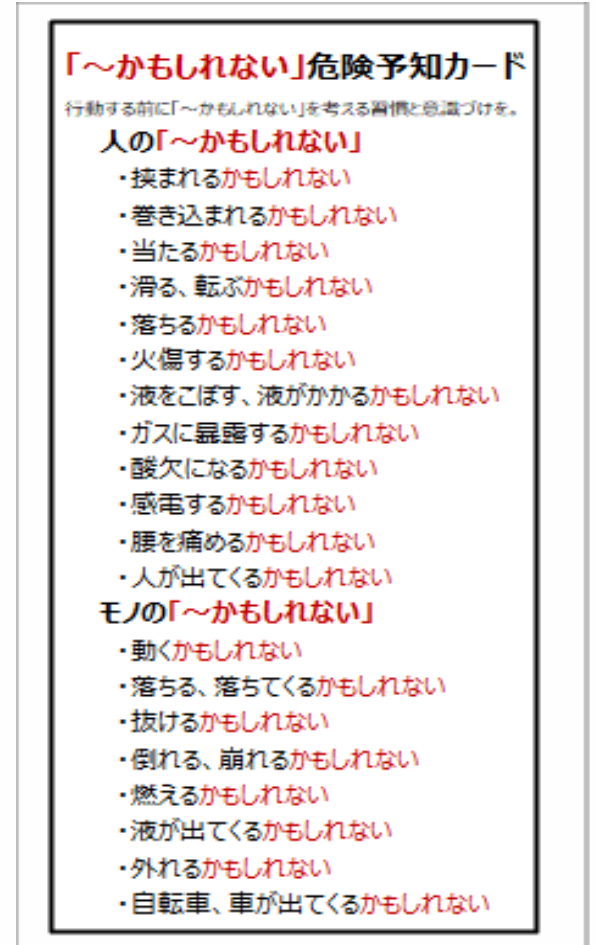
ポスターを製作、所内各所に掲示



人の命を守るためのカードをひとり一人に配布

表面：ケガをしない、ケガをさせない活動

裏面：気づきのヒント「～かもしれない」



STOPおじさん

「対話」、「5S」、「褒める文化」の3つの柱を中心に活動を行っています。

褒める文化の醸成「STOPおじさん活動」


【ねらい・目的】


1. 社員のうち**経験年数5年未満の若手**（労災発生件数の5割）や日常管理では**目の届きにくい協力会社**（労災発生件数の4割）にスポットをあて、労働災害発生ゼロ化を目指すこと。
2. これまで安全の取り組みは、**やって当たり前、やっていないと指摘ばかり受ける風土**が拭えなかったが、日々、現場で色々な工夫をしながら安全に作業出来ていることこそが、労働災害発生ゼロ化の達成・継続に何より必要なことと捉え、「**当たり前**」に**光を当てて褒める**ことで、ひとり一人の安全意識の高揚と安全活動のスパイラルアップをねらいとした。

「STOP おじさん」

現場を回り、良い作業を誉めること。これが第一です。
もちろん、危険な作業を見れば、安全に作業を止めていただき、その作業の危険性を考えていただきます。指摘はしません。

皆さんの「グッドポイント」を探しています。





STOP 活動

(Safety Training Observation Program)

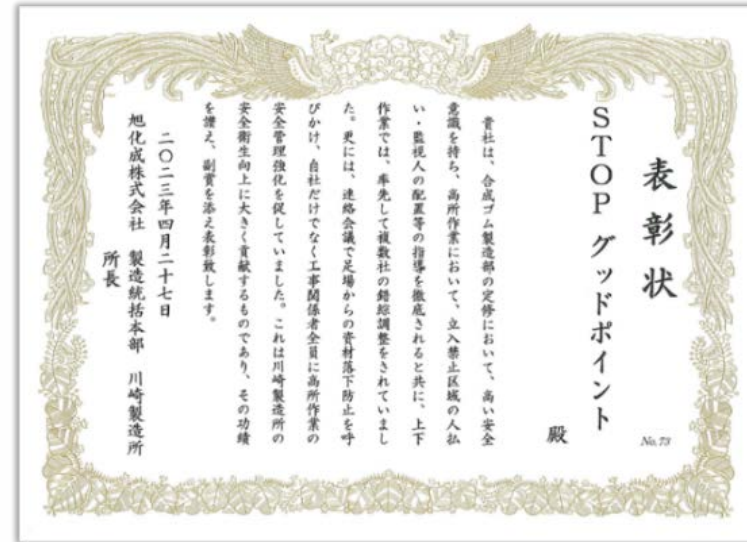
デュポン社が開発した安全管理プログラムを日本型の安全活動にアレンジしたもの。活動の基本は、不安全状態、不安全行動を観察、指摘し、アクションを起こすというサイクルで危険を排除し災害を防止する。

色々な視点で作業を観察し、**良い作業や取り組みを褒めることを第一に考え**、現場を歩き回っています。もちろん、危険な作業を見たときには作業を止めていただき、その作業の危険性を考えていただきます。**単なる指摘ではなく、一緒に考えることで、経験値を補完すると共に互いに納得感のある取り組みをしています。**

褒める文化の醸成「STOPおじさん活動」

年度	表彰件数	グットポイント件数
2021年度	33件	347件
2022年度	36件	422件
2023年度	35件	921件
2024年度	15件	302件
累計	119件	1992件

※2024年度は、9月末まで



Point

TOPから**直接**褒める
内容を**具体的**に褒める



**安全意識を高く持ってもらい
良い作業を定着化させる**

現場を見て回り、手本となるような作業や工事について、当たり前と思われることも含めて「グットポイント」に挙げてタイムリーに褒めることをしています。その中でも表彰に値する（自薦他薦も可）ものがあれば、現場の皆さんの前で、製造所長に直接表彰していただいております、好評となっています。

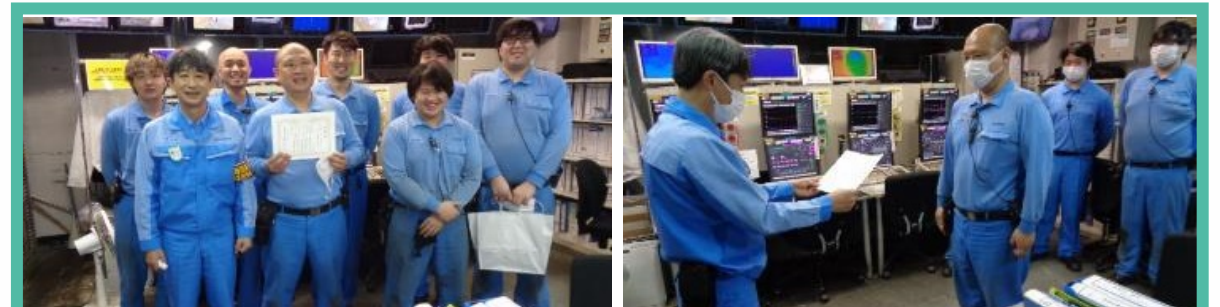
協力企業への表彰

製造所長室で製造所長から直接表彰されている様子



製造部門への表彰

プラント制御室で製造所長から直接表彰されている様子



褒める文化の醸成「STOPおじさん活動」

【STOPおじさんの効果】

- ・所長からの表彰を受けた皆さんからは次の様な声があがっており、「褒める」ことで良いスパイラルアップになっていると実感し、ねらい通りの成果だと感じています。

【表彰された製造部門の皆さんの実際の声】

- ・「毎日現場で異常が無いか目を光らせて点検を行っている為、日々当たり前前の積み重ねが褒められ、表彰していただいたことは、とても嬉しく思いました。」
- ・「日々、安全最優先で作業しているので、今後も賞を取れる様に頑張っていきたいと思います。」
- ・「評価して頂く事で安全に対して、よりこだわりを持ってグループK Yを行っていきたいと意欲がわきました。」

【表彰された協力会社の皆さんの実際の声】

- ・「これだけ具体的に褒められると、これまで以上に安全にやらなければならないという気持ちになりました。」という声が多数あり。

普段当たり前だと思い作業していることが、実はとても重要で価値があることをTOPと現場で再認識し共有することで、良いスパイラルアップになっている。

4. 重大事故防止 「保安防災技術伝承活動」の紹介

4. 重大事故防止「保安防災技術伝承活動」の紹介

2011.11_塩ビモノマー設備爆発火災
(山口県 周南地区)



2012.04_レゾルシン設備爆発火災
(山口県 岩国大竹地区)



2012.09_アクリル酸貯蔵タンク爆発火災
(兵庫県 姫路臨海地区)



2011～2012年に西日本で発生した3つの石油化学プラント重大事故から

① 重大事故防止の為の危険度評価

② 異常発生時に臨機応変な判断と対応

ができる管理体制を継続的に確保しておく必要がある事を再認識

4. 重大事故防止「保安防災技術伝承活動」の紹介

【重大事故の原因】

1. 過去の事故情報の共有の問題

同種の事故が繰り返し発生しているにもかかわらず、過去の事故の教訓が十分に共有されず、活かされなかった。

2. 危険度の評価の問題

どのような事態が発生するのかについての事前検討の結果が、マニュアルや設備に反映されていなかった。

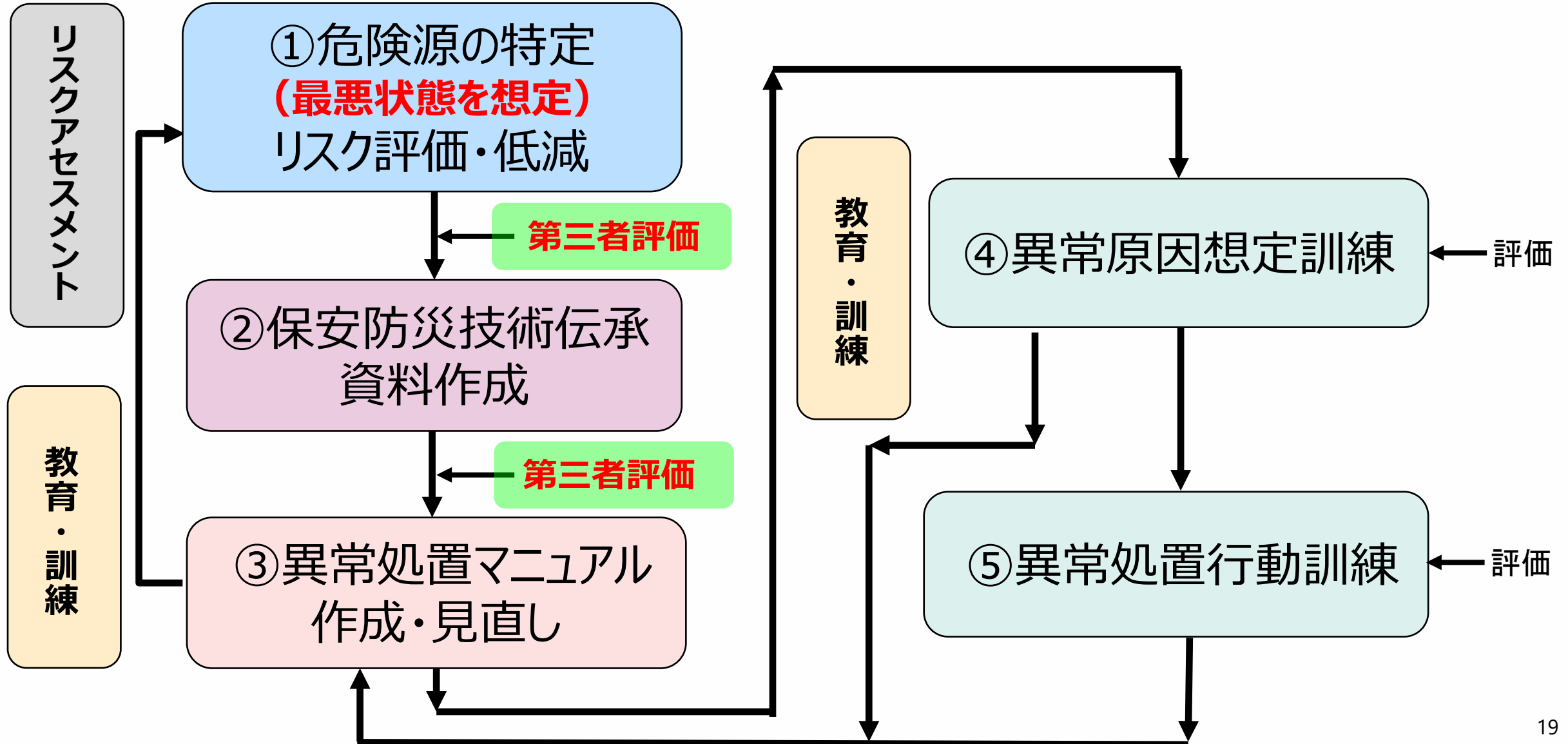
3. 人材育成の問題

管理者や操作担当者の知識不足が要因のひとつであり、人材育成に問題があった可能性があった。

こういった背景を踏まえて、
2013年度より旭化成独自の「保安防災技術伝承活動」を開始

4. 重大事故防止「保安防災技術伝承活動」の紹介

【保安防災技術伝承活動の流れ】



5. 法令遵守「法令講習会」の紹介

5. 法令遵守「法令講習会」の紹介

【目的】

法で定められたルールを**定期的に、繰り返し教育**することで、法に対する意識を高め、理解を深める。

【受講対象者】

川崎製造所に所属する全従業員

【概要】

「消防・石災法」「高圧ガス保安法」「労働安全衛生法」「環境関係法令」の4つのパートに分け、環境安全部の各担当から各30分程度の講義を行う。
Teams + 録画配信により、**時間と場所を問わずに受講でき、後からの復習も可能**。
実施後、アンケートを実施することで次回以降への改善につなげている。

【教育内容】

新人からベテランまで幅広い受講者がいるため、**法の基礎から過去の社内／他社でのトラブル事例、最新の法令／内規改定内容まで盛り込んで**いる。

法令講習会

- ◆日時：2024年8月30日（金）、13:10-15:35
- ◆場所：Teams
- ◆内容：

1. 環安部長挨拶、	13:10-13:15
2. 消防法・石災法：	13:15-13:45（30分）
（休憩、5分）	
3. 高圧ガス保安法：	13:50-14:20（30分）
（休憩、10分）	
4. ISO14001と法順守の仕組み：	14:30-15:00（30分）
（休憩、5分）	
5. 労働安全衛生法：	15:05-15:35（30分）
- ◆備考：8/30（金）夕方：受講アンケートForms依頼予定

5. 法令遵守「法令講習会」の紹介

【教育内容例（高圧ガス）】

本日の内容

1. 高圧ガス保安法について（法の目的）
2. 高圧ガス事故の状況等
3. 高圧ガス事故の定義等について
4. 高圧ガスの法定義務講習について
5. 高圧ガス申請等の適切な実施について
6. 川崎製造所内の是正勧告事案について（風化防止教育）
7. 直近の法令改正について
8. 神奈川県からの情報等

最新の法令改正情報や社内外から
収集した情報等も盛り込み、業務への
活用を促している。

過去のトラブル事例等は
繰り返し教育により風化防止
を図る。



3. 事故の定義等について

◆「高圧ガス事故」の定義について

【Quiz①】 次の事例は高圧ガス事故に該当するでしょうか？

パトロール中、配管のエルボ（母材）からブテン（高圧ガス）が漏洩しているのを確認したため、配管の縁切り、脱圧を行った。

漏洩量はカニ泡程度であった。

【答え】 高圧ガス事故に該当します。

高圧ガスであるブテンが、締結部等ではなく配管の母材から漏洩したため、漏洩量が微量であっても高圧ガス事故となります。

クイズ形式等も取り入れることで、
法に馴染みの無い受講者でも興味・関心
を持てるよう工夫している。

5. 法令遵守「法令講習会」の紹介

【受講者からの感想】

（高圧ガス関係）

- 法令等の変更点や通報事例などの説明は再勉強となった。
- 高圧ガス認定の過去の取消事例や是正勧告などは毎年、繰り返し教育を行うのが良い。
- 高圧ガスは難しい専門用語等が多く内容が入ってこないことが多かったが、クイズ形式はわかりやすかった。

（全般）

- ビデオでの視聴ができたので良かった。
- 毎年教育資料の内容がブラッシュアップされているので、わかりやすかった。
- 常にその分野に携わっていない為、定期的の実施することで定着すると感じる。
- 多方面の法令を集中して学べ、記憶が薄れてきたものの再認識もできて良かった。
- 実務者、承認者にとっては、毎回の参加により精度も上がり、変更点も分かるので有効。
- 過去に発生したトラブル事例の説明を通じ、注意すべき内容・ポイントがわかりやすくまとめられていた。

5. 最後に

私たち旭化成川崎製造所は、製造所方針である


『世界で最も“いのち”と“暮らし”に貢献する製造所』

を目指し、保安確保のための努力を惜しまず続けて参ります。



AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

A decorative graphic consisting of several overlapping, wavy lines in shades of blue and red, curving from the bottom left towards the top right, framing the text.